

高校生ICT Conference 2021

in 新潟

～テーマ～

「フェイクを見極める」

開催報告書

2021年8月19日(木)13:00-17:30

【会場】：オンライン

主催

新潟県サイバー脅威対策協議会

高校生ICTカンファレンス実行委員会

(構成団体)

一般社団法人安心ネットづくり促進協議会

大阪私学教育情報化研究会

一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会

共催

内閣府、警察庁、消費者庁、総務省、法務省、文部科学省、経済産業省

2021年8月25日

目 次

1. 開催概要.....	2
2. 高校生 ICT Conference 2021 地域開催.....	4
3. 高校生 ICT Conference 2021 in 新潟 開催概要.....	4
4. 主担当.....	8
5. 高校生 ICT Conference 2021 サミット.....	8
6. 高校生 ICT Conference 最終報告会.....	8
7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応.....	8

1. 開催概要

名 称：	高校生 ICT Conference 2021 テーマ： 「フェイクを見極める」
主催：	新潟県サイバー脅威対策協議会 高校生 I C Tカンファレンス実行委員会 (構成団体) ● 一般社団法人安心ネットづくり促進協議会 ● 大阪私学教育情報化研究会 ● 一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会
共催：	内閣府、警察庁、消費者庁、総務省、法務省、文部科学省、経済産業省
後援：	一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会、全国高等学校情報教育研究会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、一般財団法人マルチメディア振興センター、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構
協賛：	グーグル合同会社、株式会社ラック、株式会社サイバーエージェント、株式会社メディア開発綜研、Twitter Japan 株式会社、グリー株式会社、株式会社ディー・エヌ・エー、アルプス システム インテグレーション株式会社、Bytedance 株式会社、エースチャイルド株式会社、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会
協力：	新潟コンピュータ専門学校、敬和学園大学、株式会社内田洋行、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、デジタルアーツ株式会社、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、ストップイットジャパン株式会社
開催目的：	<p>高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加、その後順次規模を拡大し、2020 年度には、全国 15 拠点にて開催し、計 86 校 360 人の高校生が参加しました。</p> <p>高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。</p> <p>【本年開催テーマのコンセプト】</p> <p>ネットの無い世界は考えられなくなっている反面、ネット上には真偽を問わず情報が溢れています。災害など非常時に人の善意に付け込んだフェイク情報は、愉快犯に留まらず、恐怖心をあおり、例えば買い占めを誘引したり、人格を変質させ根</p>

	<p>扱の無いいじめにつながったりしています。</p> <p>さらに、最近では、フェイクの域を超え、実在の企業になりすました巧妙な、なりすましメールや偽の HP への誘導による犯罪も常態化しています。</p> <p>2022 年に施行される成年年齢引下げに向けて高校生の早い時期からネットの特性を理解したうえで、フェイクを見極め、事故や犯罪に巻き込まれることなく、ICT を活用するにはどうすれば良いのかを、利用実態を踏まえ、議論する。</p> <p>※平成 21 年 4 月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成 23 年度の小学校を皮切りに、平成 24 年は中学校、平成 25 年度は高等学校で全面实施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しい ICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全に ICT を利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。</p>
開催の概要：	<p>【各開催地での内容】※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。</p> <p>(1) 挨拶 (2) 講演 (3) アイスブレイク (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評 (7) サミット参加者発表</p> <p>【東京サミット】</p> <p>(1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p>【最終報告会】</p> <p>(1) 各府省庁への提言発表（プレゼン） (2) 質疑応答・意見交換</p>
各開催地 募集人員等：	<p>募集参加生徒 30 名（各開催地により変動あり） 募集見学者各回 30 名（各開催地により変動あり）</p>
参加参観方法：	参加費・参観無料 [要事前登録]
高校生 ICT Conference2021 実行委員会：	<p>【委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米田謙三（大阪私学教育情報化研究会 副会長） <p>【コアメンバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石田幸枝（公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会理事・消費者団体訴訟室長） ・ 猪股 富美子（お茶の水女子大学 人間発達科学研究所） ・ 植田 威（特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事） ・ 小城 英子（聖心女子大学） ・ 他、関係者団体、事業者等

	<p>【事務局】 安心ネットづくり促進協議会 〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 14 番 6 号 斎藤ビル 2 階 TEL: 03-3562-8850 FAX: 03-3562-1180</p>
--	--

2. 高校生 ICT Conference 2021 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生がテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

開催地	開催日時	会場
北海道	9月12日	オンライン
茨城	10月14日	オンライン
東京	10月2日	オンライン
神奈川	9月4日	オンライン
新潟	8月19日	オンライン
石川	10月3日	オンライン
長野	10月9日	オンライン
静岡	9月19日	オンライン
大阪	9月12日	オンライン
奈良	10月3日	オンライン
高知	8月19日	オンライン
福岡	9月25日	福岡県中小企業振興センター大ホール
佐賀	10月23日	オンライン
長崎	8月21日	オンライン
大分	8月22日	オンライン
鹿児島	10月16日	オンライン
全国オンライン	10月10日	オンライン
サミット	11月3日	東京 内田洋行 CANVAS
最終報告会	未定	

3. 高校生 ICT Conference 2021 in 新潟 開催概要

<p>概要</p>	<p>高校生、教員、企業関係者など 55 名の参加者を得て、Zoom を使ったオンライン形式で、「フェイクを見極める」をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>【熟議】 司会進行・主旨説明 草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会 落合 博幸 様 高校生 ICT Conference の概要及び本日の大まかな流れを説明していただきました。</p> <p>開会の挨拶 総務省信越総合通信局 情報通信部 電気通信事業課 課長 太田 伸一 様 ICT とフェイクに目を向けると「サイバー犯罪」「デマ発信」などが思い出され、例えば熊本地震で動物園からライオンが逃げ出したとデマを投稿し逮捕されたり、</p>
-----------	--

あおり運転の加害者関係者として全くの他人が投稿されたりして問題となった。ICTは正しく、便利に使うことが必要で、使い方を誤ると加害者にも被害者にもなる。今日は、これを防止するにはどうしたら良いのか。皆さんの議論に期待している等とお話いただきました。

第一部：アイスブレイク、 自己紹介

高校生が参加校ごとに自己紹介を行い、続いてファシリテーター役を務める敬和学園大学及び新潟コンピュータ専門学校の新潟県警察サイバーボランティアの学生がそれぞれ自己紹介を行いました。

その後、合計4班に編成された各ブレイクアウトセッションルームに移動し、セッション内で「ランダムトピックトーク」を行うなどして、同じ班の参加生徒やファシリテーターとのアイスブレイクを行いました。

※ ランダムトピックトーク

参加者が一斉に好きな数字をチャットに投稿し、これを合計した数の一桁目の数字に予め設定された「テーマ内容」について、それぞれがトークを行う。

第二部：イントロダクション

草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会 落合 博幸 様

ネット上に溢れるフェイクについて、事例及びフェイクに関する用語の説明や熟議のポイントをお話していただきました。

第三部：熟議「フェイクを見極める」

新潟県警察サイバーボランティアの学生がファシリテーター役となり、各ブレイクアウトセッション内で高校生が熟議を開始しました。

熟議の内容は、オンラインホワイトボード「Miro」を活用しながら、参加生徒の意見をホワイトボード内に貼付し、出た意見を分類化して整理しながら、まとめを行っていきました。

第四部：グループ発表

各グループ内で出た意見について、班ごとに Google スライドに発表用資料としてまとめ、参加生徒自身で各班3分程度の発表を行いました。

(詳細は別紙「グループ発表資料」をご参照ください)

その後、Google フォームを使い、参加生徒・ファシリテーター・書記・担当教員らが11月3日に開催される東京サミットに行く代表生徒の選定投票を行いました。

その結果、最も投票数の多かった第4班の中で最も投票数が多かった、新潟県立新津高等学校1年女子生徒が代表生徒として選出されました。

講評 敬和学園大学人文学部教授

新潟県サイバー脅威対策協議会会長 一戸 信哉 様

	<p>「フェイク」という難しいテーマの中で、様々な対処法を考えた意見が出る中、政府に対する提言をする等、とても踏み込んだ内容も議論され非常に良かった。</p> <p>反面、社会全体が「フェイクニュース」に流されてしまう状況があり、正しい情報に対して政府がどれだけ責任を持つべきなのか、情報発信事業者がどこまで責任を負い規定を定めていくのか、ファクトチェック機関はどのように有るべきなのか等についても意見が出れば、更に良い熟議となったと思う。『安心感が得られる情報だけを見られる状況にする』ということはある意味では管理・制限された危険な状態であり、情報弱者を含めた多くの人が「安心出来ること」と「世の中の多様性」のバランスをどのような方法で保っていくかが今後の議論の一つである。最後にこれからも皆さんがそれぞれ、ネット社会の中でのフェイクニュースを乗り越えた情報化社会の在り方について引き続き考えていって欲しいと講評をいただきました。</p>
参加校：	<p>学校法人石善学園新潟第一高等学校 新潟県立新津高等学校 新潟県立新発田高等学校 新潟県立新潟高等学校 新潟県立新潟工業高等学校 新潟県立新津工業高等学校 新潟県立巻高等学校 新潟県立新潟南高等学校 (順不同)</p>
日時：	2021年8月19日(木) 13:00-17:30
場所：	オンライン
参加人数：	<p>熟議参加生徒 18人 見学者・関係者 37人(教員・教育関係者・その他) 合計： 55人</p>
熟議グループ：	<p>熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。(敬称略)</p> <p>【1班】 4名 巻高等学校1年女子、新津高等学校1年男子、新潟工業高等学校2年男子、新潟第一高等学校2年女子 〔ファシリテーター〕 敬和学園大学3年 小田 颯太 敬和学園大学3年 岸田 瑠瑠 〔書記〕 新潟コンピュータ専門学校4年 増田 劉備 新潟コンピュータ専門学校1年 小林 志穂 新潟コンピュータ専門学校2年 原田 泰知</p> <p>【2班】 5名 巻高等学校2年女子、新津工業高等学校3年男子、新潟南高等学校2年女子、新潟第一高等学校2年男子、新潟高等学校2年女子 〔ファシリテーター〕 新潟コンピュータ専門学校2年 金子 梧月</p>

敬和学園大学3年 三浦 丈嗣

[書記]

新潟コンピュータ専門学校1年 木村 実央

敬和学園大学4年 磯部 ありさ

【3班】 5名

新津高等学校1年男子、新潟南高等学校2年女子、新津工業高等学校3年男子、
新潟高等学校1年男子、新潟第一高等学校2年女子、

[ファシリテーター]

敬和学園大学3年 土谷 紗矢

敬和学園大学2年 金安 優希

新潟コンピュータ専門学校4年 八木 智秋

[書記]

新潟コンピュータ専門学校2年 瀧澤 貫太

新潟コンピュータ専門学校1年 地頭 有利恵

【4班】 4名

新発田高等学校3年女子、新津高等学校1年女子、新潟工業高等学校2年男子、
新潟第一高等学校2年男子

[ファシリテーター]

新潟コンピュータ専門学校2年 座安 那苗

新潟コンピュータ専門学校1年 本間 大聖

[書記]

新潟コンピュータ専門学校2年 津野 駿典

新潟コンピュータ専門学校1年 渡邊 黛

敬和学園大学3年 涌井 信行

4. 主担当

一般社団法人安心ネットづくり促進協議会	事務局
新潟県サイバー脅威対策協議会	運営 会場、什器備品手配、庶務

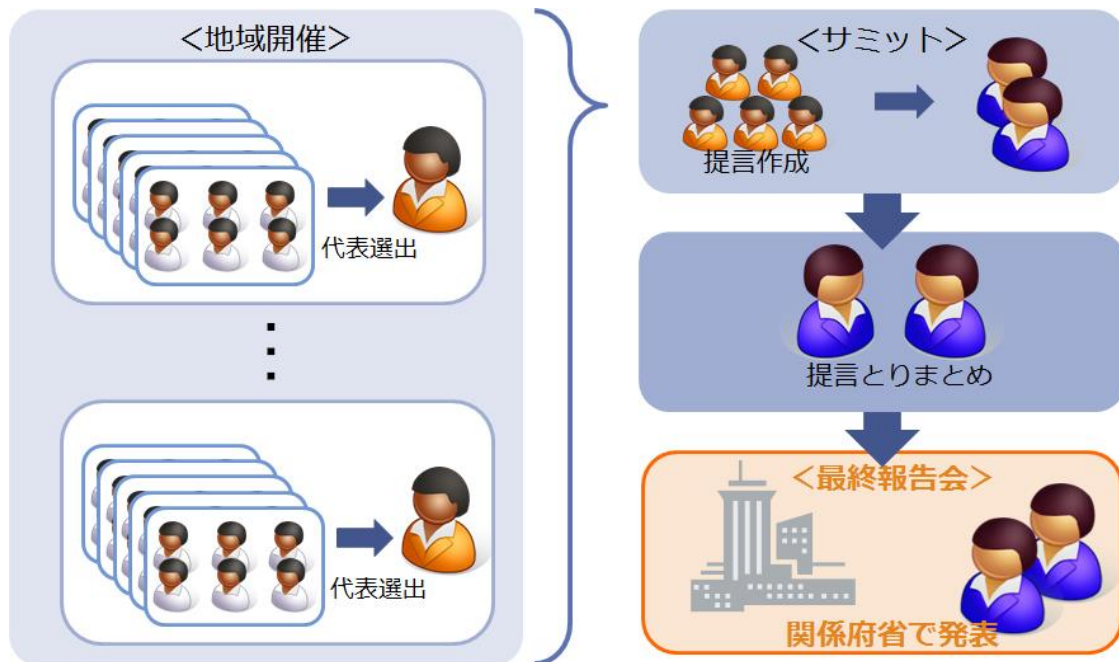
5. 高校生 ICT Conference 2021 サミット

高校生 ICT Conference 2021 サミットは、各地で開催された Conference の成果を高校生の代表として提言をまとめるための場です。その代表者の選考は以下の手順によります。

- 1) 参加が決まった場合、参加生徒を決めていただき、事前に登録をする
- 2) 熟議終了後、参加生徒の投票を基に代表を選出
- 3) 各地の代表者でサミット開催
- 4) サミット終了後、最終報告会で発表する代表を上記手順と同様に選出
- 5) 最終報告会代表者が、サミットの内容を提言にまとめ、最終報告会で提言発表を行う

6. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2021 サミットで検討された提言を、選出された代表者が報告用にとりまとめ、関係府省庁にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを踏む。



7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応

- 1) グループ発表資料保存（又は模造紙など発表紙面の撮影）
- 2) Conference 終了後、発表内容、講評と併せて高校生 ICT Conference のサイトにアップデート
- 3) 高校生 ICT Conference 2021 サミット終了後、実行委員会にて取りまとめ
- 4) 高校生 ICT Conference 2021 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 5) 最終報告会での発表

以上